

ASEAN 大使通信
第 21 回 ASEAN 関連首脳会議に向けて

2024 年（令和 6 年）8 月 28 日



ASEAN＋日中韓首脳会議準備高級実務者会合（APT Prep-SOM）
（2024 年 8 月 22 日、於ラオス・ルアンパバーン）

7 月下旬に ASEAN 関連外相会議が終わり、いよいよ 10 月前半の ASEAN 関連首脳会議に向けての追い込みの時期になりました。8 月下旬にラオスの古都ルアンパバーンで、ASEAN＋日中韓（APT）首脳会議と東アジア首脳会議（EAS）準備のための高級実務者会合（Prep-SOM）と連結性関連会合が開催され、私も初めて同地を訪れました。首脳会議まであと 1 ヶ月半のタイミングで、具体的な段取りや成果文書の方向性を確認する重要な機会となりました。

また、今月は日本が協力した ASEAN 若者・平和・安全保障（YPS）研修、今年から協力に加わった ASEAN ジュニア・フェローシップ・プログラム（AJFP）の参加者との意見交換、ASEAN デー式典、アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）閣僚会合など盛り沢山の行事があり、日本と ASEAN の協力や交流を着実に進めることができました。

今回の大使通信では、Prep-SOM をはじめ一連の会議や行事についてご報告し、その成果や意義を皆さんと一緒に振り返ってみたいと思います。



ASEAN 若者・平和・安全保障（YPS）研修閉会式
（2024 年 8 月 2 日、於インドネシア・タンゲラン）

●ASEAN 若者・平和・安全保障（YPS）研修

7 月 29 日から 8 月 2 日にかけて、ジャカルタ郊外の南タンゲランで、[ASEAN 若者・平和・安全保障（YPS）研修](#)「平和構築における若者の役割向上」が行われました。この研修は、ASEAN 平和・和解機構（ASEAN-IPR）が日本 ASEAN 統合基金（JAIF）の協力により、ASEAN10 カ国・東ティモール・日本の政府機関・NGO・大学等から若者 34 名の参加を得て実施したものです。

今回の研修では、ASEAN 地域の平和構築専門家を招き、参加型のワークショップなどを通じて、参加者の紛争解決・平和構築の能力向上と ASEAN における YPS の推進に取り組みました。研修の様子は[動画](#)にまとめられ、今後報告書も作成される予定です。日本からは山中燐子 ERIA 事務総長特別顧問・元外務大臣政務官が開会式に出席して基調講演を行いました。私は閉会式に出席して挨拶し、[日本からの参加者 3 名](#)とも意見交換を行いました。

2015 年に[若者・平和・安全保障（YPS）](#)に関する[国連安保理決議第 2250 号](#)が採択されてから、ASEAN の場でも [YPS に関する取組](#)が徐々に進んでいます。日 ASEAN 友好協力 50 周年の実施計画も踏まえ、日本は今回初めて YPS への協力を始めました。女性・平和・安全保障（WPS）のみならず YPS についても、ASEAN の取組を今後様々な形で後押ししていきたいと思います。



ASEAN ジュニア・フェローシップ・プログラム（AJFP）参加者との
日 ASEAN 協力についての意見交換会（2024 年 8 月 14 日、於大使公邸）

●ASEAN ジュニア・フェローシップ・プログラム（AJFP）

8 月 2 日から 31 日まで、ASEAN ジュニア・フェローシップ・プログラム（AJFP）で、ASEAN10 カ国と東ティモールから 22 名の若手政府職員がジャカルタを来訪し、今月開催された多くの行事に参加するとともに、幅広い関係者と意見交換を行いました。

この AJFP は、2021 年に議長国ブルネイのイニシアティブにより開始を決定し、翌年の 2022 年から始まって今回が 3 回目となります。ASEAN 各国から外務省をはじめ関係省庁で ASEAN 関連業務を担当する優秀な若手政府職員が選考され、ASEAN の最新動向について ASEAN 事務局をはじめ幅広い関係者から説明を受けて意見交換を行うものです。日本は昨年の日 ASEAN 友好協力 50 周年に際してこの事業への支援を表明し、本年の第 3 回からは JAIF の協力で参加者を倍増して 22 名になりました。

8 月 2 日の [AJFP 開始式典](#)では、カオ・キムホン ASEAN 事務総長やラティファ・ブルネイ ASEAN 常駐代表から、参加者を倍増する日本の貢献に対する謝意が述べられました。8 月 14 日には、同プログラムに参加する 22 名を公邸に招き、今後の日 ASEAN 協力についての[意見交換会](#)を行いました。私からの[冒頭プレゼンテーション](#)を受けて、参加者から自らの担当分野を含む多くの質問が出され、具体的なフォローアップにもつながる大変有意義な行事となりました。



ASEAN デーの日本食ブース（2024 年 8 月 8 日、於 ASEAN 本部・事務局）

●ASEAN デー行事

8 月 8 日の [ASEAN デー](#)には、ASEAN 本部・事務局で多くの行事が開催されました。新館大ホールのメインイベントは、カオ・キムホン ASEAN 事務総長、ルトノ・インドネシア外務大臣の挨拶やサルムサイ・ラオス副大臣兼外務大臣のビデオメッセージに続き、ASEAN をテーマにしたバティックの発表や音楽・ダンスのパフォーマンスが行われ、オンラインでも[動画発信](#)されました。

引き続き、旧館大ホールでオープンハウスが開催されました。ASEAN 加盟国や対話国、ASEAN センターとともに、[日本もブースを出展](#)して（[動画](#)）、おにぎり、からあげ、つくねやお菓子を提供し、大人気で飛ぶようになりました。協力いただいた三菱商事・ローソンにお礼を申し上げます。カオ・キムホン事務総長やルトノ外務大臣にも立ち寄っていただき光栄でした。

来年は 4 月 13 日から 10 月 13 日まで[大阪関西万博](#)が開催され、8 月 8 日には万博会場で [ASEAN デー行事](#)を予定しています。今回の日本食ブースでも、大阪関西万博を広報させていただきました。来年の ASEAN デーには、ジャカルタのみならず大阪で ASEAN について発信できることを楽しみにしています。



アジア・ゼロエミッションセンター立ち上げ式
(2024 年 8 月 21 日、於ジャカルタ、経済産業省提供)

●第 2 回 AZEC 閣僚会合

8 月には、アジアの脱炭素化・経済成長・エネルギー安全保障を同時に実現するために日本が提唱している「[アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）構想](#)」が更に進展しました。2022 年 1 月の発表後、2023 年 3 月に東京で第 1 回 AZEC 閣僚会合、12 月に同じく東京で第 1 回 AZEC 首脳会合が開催されてきました。

8 月 5 日、新任の山田滝雄 AZEC 担当大使（前駐ベトナム大使）がジャカルタを来訪し、カオ・キムホン ASEAN 事務総長と脱炭素に向けての協力推進について[意見交換](#)を行いました。翌 6 日には[ASEAN エネルギー・センター（ACE）を訪問](#)し、ヌキ・ウタマ所長と今後の協力について話し合いました。

8 月 21 日にはジャカルタで第 2 回 AZEC 閣僚会合が開催され、[共同声明](#)が採択されたほか、ERIA に新設された[アジア・ゼロエミッションセンター](#)の立ち上げ式や、約 70 件の関連 MOU の公表、経産省・ADB・ERIA の協力覚書の締結等が行われました。本年 10 月、ASEAN 関連首脳会議がビエンチャンで開催される機会に、第 2 回 AZEC 首脳会合を開催する方向で準備を進めています。



東アジア首脳会議準備高級実務者会合（EAS Prep-SOM）
（2024 年 8 月 22 日、於ラオス・ルアンパバーン、ASEAN 事務局提供）

●Prep-SOM と連結性関連会合

8 月下旬には、ラオスの古都ルアンパバーンで ASEAN・SOM 関連会合が集中的に開催され、私も 8 月 18 日から 23 日まで 5 泊滞在しました。

8 月 19 日には、[ASEAN 連結性調整委員会（ACCC）](#) と対話国等の協議が開催されました。2016 年に策定された [ASEAN 連結性マスタープラン（MPAC）2025](#) の総括と、来年の ASEAN 連結性戦略計画（ACSP）の策定への参画が大きな課題で、日本を含む対話国等から、各自の貢献について説明しました。23 日には議長国ラオス・ASEAN 事務局・ERIA 共催の [第 15 回連結性シンポジウム](#) も開催され、同じ課題について幅広い関係者により議論を深めることができました。

8 月 22 日午前には、[ASEAN+日中韓首脳会議準備高級実務者会合（APT Prep-SOM）](#) と [東アジア首脳会議準備高級実務者会合（EAS Prep-SOM）](#) が開催され、その前後には歓迎夕食会や多数の二国間 SOM 協議が行われました。首脳会議まであと 1 ヶ月半の時期に、具体的な段取りや成果文書の方向性について、議長国からの報告や各国からの意見や立場の表明があり、有意義な機会となりました。



ASEAN 連結性シンポジウムでの質問
(2024 年 8 月 23 日、於ラオス・ルアンパバーン)

●ルアンパバーンからビエンチャンに向けて

本年のラオス議長国のテーマは、[「ASEAN：連結性と強靱性の向上」](#)です。今回のルアンパバーンでの一連の会合は、10 月のビエンチャンでの ASEAN 関連首脳会議、さらには来年のマレーシア議長国下での ASEAN 共同体ビジョン(ACV) 2045 と 4 つの戦略計画の採択に向けて、地政学的な課題への対応のみならず、具体的な協力案件の形成に向けて考えを深める良い機会になりました。

例えば、8 月 23 日の ASEAN 連結性シンポジウムでは、ASEAN 加盟国内の規制調和、対話国等の協力、民間部門の投資の 3 つを同時に視野に入れて取り組む必要性について私から質問し、パネリストから示唆に富むご意見を伺いました。

今月、総合研究開発機構（NIRA）のインタビュー特集「わたしの構想」で、[「日・ASEAN、21 世紀のパートナーシップへ」](#)がテーマに取り上げられ、[私の意見](#)も掲載されました。インド太平洋地域での様々な課題に対する解決策を日 ASEAN で共創するために、昨年の日 ASEAN 友好協力 50 周年のコミットメントを最大限に活用して有意義な協力案件を積極的に形成することで、10 月の ASEAN 関連首脳会議に向けて積極的に貢献していきたいと思えます。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦